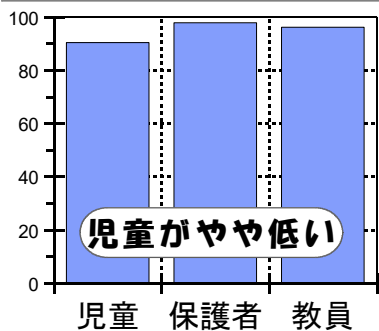


神無月の由来：国の神々が出雲大社に集まり、各地の神々が留守になる月という説などがある。

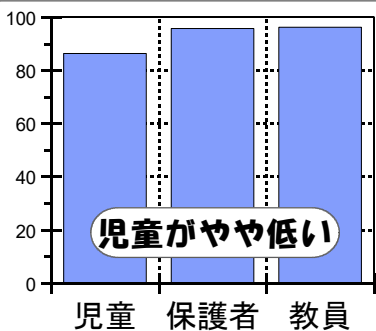
学校評価アンケート結果② 児童・保護者・教員
 アンケートの比較

（「よくあてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた割合を比較しました）

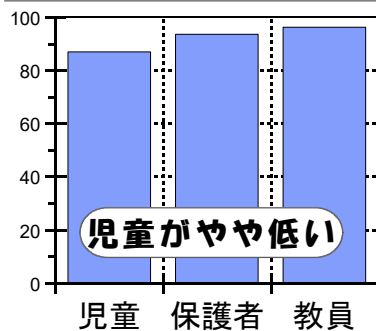
**基礎基本・学力向上
 学習のきまり**



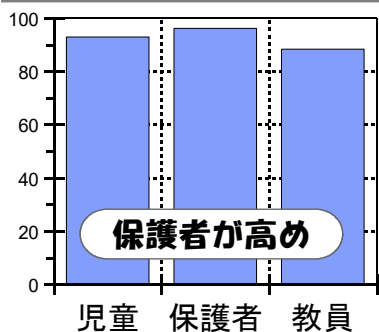
**主体的な表現力の育成
 学びを生かす力の育成**



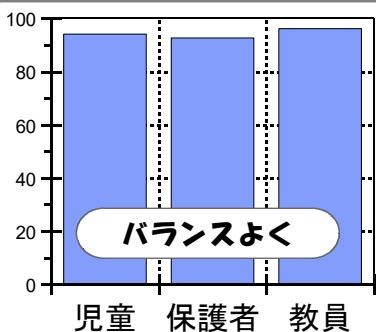
**挨拶・返事・整理整頓
 基本的生活習慣**



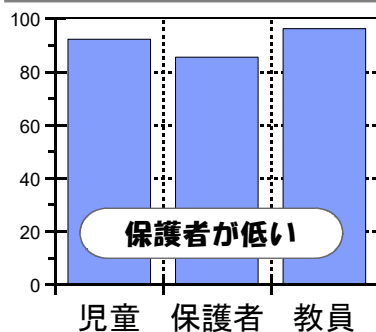
**道徳教育の充実
 豊かな心の育成**



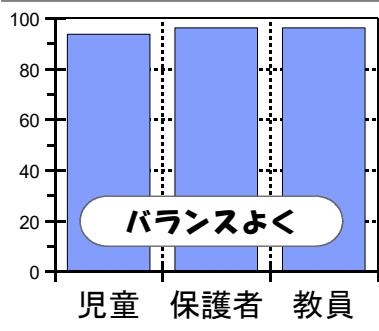
**心身ともにたくましい
 子どもの育成**



**いじめの未然防止
 早期発見の取り組み**



**安全指導や
 安全教育的充実**



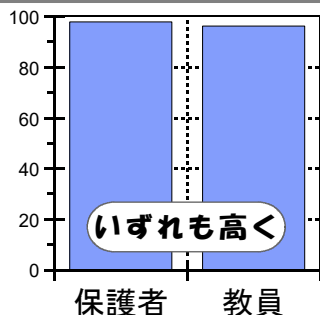
いずれの質問項目において、児童・保護者・教員の肯定的な評価が80%を超えましたが、「いじめの取り組み」については、保護者の肯定的な評価が85.5%にとどまりました。また、「わからない」と回答した方が34家庭ありました。

前号でもお伝えしましたが、いじめに関する取り組みの「見える化」を推進することに加えて、いじめのきっかけとなる小さなトラブルやもめ事に対する適切な対処や指導の充実を図るとともに、子どもたちの言動や表情に注意を払いながら、相談しやすい雰囲気づくりに努めてまいります。

※保護者の評価は、全体から「わからない」を引いた数で割合を示しております。

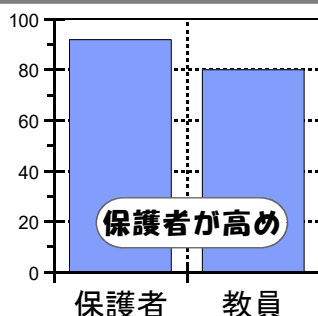
保護者・教員 アンケートの比較

学校からの情報提供



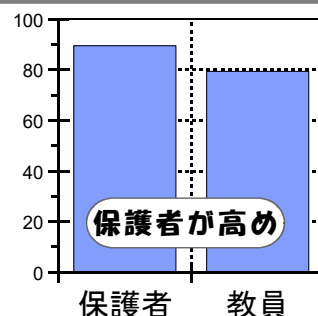
いずれも高く

地域人材活用 地域との連携協働



保護者が高め

エリアファミリー 幼保小中連携



保護者が高め

学校からの情報発信において、高い評価をいただきました。引き続き、学校便りやホームページの内容の充実や、適切かつ迅速な情報発信に努めてまいります。

一方で、地域連携や幼保小中連携において、教員の評価が低めとなりました。幼保小中連携の保護者アンケートでは、「わからない」の回答が39家庭ありました。教員については、コロナ禍により以前のような連携や活動が難しい状況が一因と考えられます。また、地域連携や幼保小中連携ともに、どのような連携を行っているか、家庭に伝わっていないことが課題となります。

コロナ禍で制限のある連携となりますが、本校が行っている取り組みを、学校だよりやHP、学年・学級通信を通じて積極的にお伝えするとともに、発信方法や内容の充実も図ってまいります。

保護者のご意見・ご要望②



- メールで連絡が来るようになったのは良い事かと思えます。
- コロナ禍で、なかなか学校へ足を運ぶ機会が無いので、全体的に様子がわからない。
- コロナの影響で授業や参観も影響を受ける中、よく対応されていると思えます。延期でも縮小でも子どもたちが校外授業（水泳や見学）など、経験していけるようにお願いします。
- メディア情報だけを信じることなく、コロナについての本性、正しい知識、子供達のマスク着用の危険性を徹底的に皆で調べ、共有してほしい。

地域連携の一環で 朝作文の取り組み

学校だより14号の全国学力・学習状況調査の中でお伝えした通り、本校児童の実態として記述式の回答を苦手としている傾向があります。日常のノート指導の中で、字数を決めて書く学習活動を積極的に行っておりますが、書く力の更なる向上を

目指し、9月から5・6年生で朝作文の取り組みを始めました。

朝作文の取り組みは、朝学習の10分間で決められたテーマについて100文字程度の短作文を書くという活動です。日常の作文は教員が添削をしたり、コメント書いたりしますが、今回の朝作文は、人生経験が豊富な地域の方や、幅広い知見を持ち合わせた地域の方にコメントを書いていただくことにしました。地域連携の一環であるとともに、短作文を通じて地域の方と心をつなげることをねらいとしております。この度、朝作文の取組にご賛同いただき、ご協力いただけることになったボランティアの皆様を紹介いたします。

阿部 敏男 様(民生委員)
内山 民生 様(元校長先生)
小笠原英次様(町内会長)
田中 範彦 様(元校長先生)
村上 早苗 様(学校支援実行委員)
吉田マチ子様(民生委員)